

いつも、私らしく輝ける場所がある。



いつも、私らしく輝ける場所がある。



株主のみなさまへ
第50期 報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

株式会社シャルレ 証券コード 9885

株式会社シャルレ
<https://www.charle.co.jp/>



株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

企業を取り巻く経営環境は日ごとに変化し、企業間競争も激化する中、不安定な世界情勢による資源価格や物価の上昇等により先行きの不透明な状況が続いております。
当社におきましても、かねてから業績不振の脱却に向け様々な課題に取り組んでおりますが、依然として厳しい経営環境は続いております。

今期、当社グループにおきましては、2035年3月期をゴールとした長期ビジョン「Charle Group Vision 2035」を策定し、グループ経営戦略方針に基づき、その実現に向けて推進しております。
今後、段階的に事業構造改革を推し進めることで、グループ全体の業績回復・拡大並びに企業価値向上を図ってまいります。

厳しい環境下ではありますが、時代の変化とお客さまのニーズをしっかりと把握し、創業以来培ってきた、美と健康をテーマにした"ものづくり"と、シャルレビジネスで培ってきた"人づくり"を大切にしながら、企業としての社会的責任を果たすよう引き続き企業活動を行うとともに、コーポレートガバナンスやコンプライアンス強化にもしっかりと取り組み、企業としての透明性・

効率性の向上を図ってまいります。

また、当社は2025年11月に創業50周年を迎えます。
これもひとえに株主のみなさまをはじめ、お客さま、多くの関係者の方々からの温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年6月

基本理念

人はみな豊かでなければならない
我々に関係ある人はみな
どうしても豊かでなければならない

株式会社シャルレ
代表取締役社長
林 勝哉



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	当連結会計年度 2025年3月31日	前連結会計年度 2024年3月31日
(資産の部)		
流動資産	12,234	15,767
固定資産	7,025	5,626
有形固定資産	2,275	1,481
無形固定資産	1,063	1,051
投資その他の資産	3,686	3,093
資産合計	19,260	21,394
(負債の部)		
流動負債	1,587	2,316
固定負債	820	758
負債合計	2,407	3,075
(純資産の部)		
株主資本	16,865	18,374
資本金	100	100
資本剰余金	8,398	8,398
利益剰余金	8,584	10,008
自己株式	△ 216	△ 131
その他の包括利益累計額	△12	△55
純資産合計	16,852	18,319
負債純資産合計	19,260	21,394

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

単位:百万円

科 目	当連結会計年度 2024年4月1日 ～2025年3月31日	前連結会計年度 2023年4月1日 ～2024年3月31日
売上高	11,548	13,168
売上原価	6,469	6,608
売上総利益	5,079	6,560
販売費及び一般管理費	6,040	6,002
営業利益または営業損失(△)	△961	557
営業外収益	27	61
営業外費用	0	3
経常利益または経常損失(△)	△934	615
特別利益	—	462
特別損失	31	394
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△965	683
法人税、住民税及び事業税	8	53
法人税等調整額	39	43
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,012	585
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,012	585

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	当連結会計年度 2024年4月1日 ～2025年3月31日	前連結会計年度 2023年4月1日 ～2024年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,804	1,507
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,680	117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△509	△160
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,994	1,463
現金及び現金同等物の期首残高	12,687	11,223
現金及び現金同等物の期末残高	7,692	12,687

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ49億94百万円減少し、76億92百万円となりました。

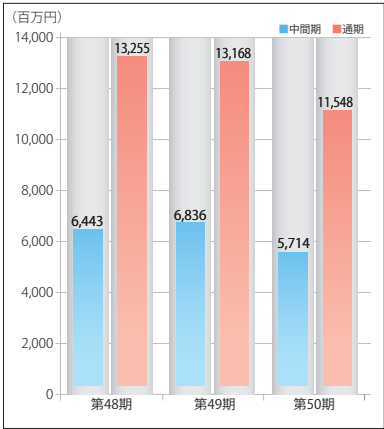
(営業活動によるキャッシュ・フロー)
営業活動によるキャッシュ・フローは、18億4百万円の支出となりました(前連結会計年度は15億7百万円の収入)。主な要因は、税金等調整前当期純損失9億65百万円、減価償却費及びその他の償却費4億65百万円、棚卸資産の増加5億54百万円、未払又は未収消費税の増減額2億73百万円による資金の減少、未払金の減少2億62百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)
投資活動によるキャッシュ・フローは、26億80百万円の支出となりました(同1億17百万円の収入)。主な要因は、有形固定資産の取得による支出13億40百万円、投資有価証券の取得による支出10億円であります。

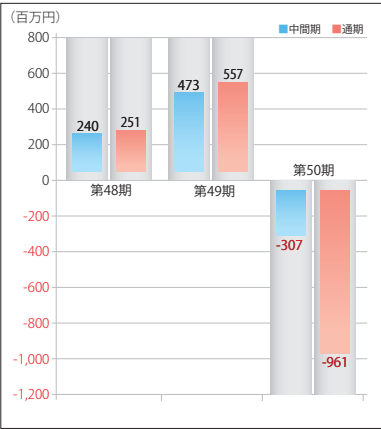
(財務活動によるキャッシュ・フロー)
財務活動によるキャッシュ・フローは、5億9百万円の支出となりました(同1億60百万円の支出)。主な要因は、配当金の支払額4億10百万円、自己株式の取得による支出85百万円であります。

連結財務ハイライト

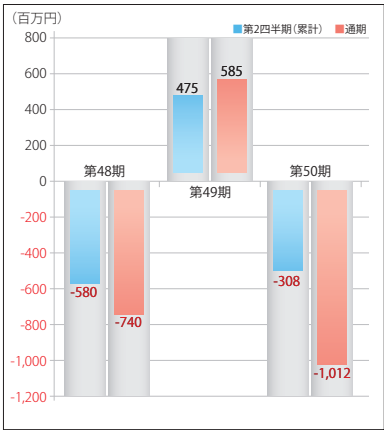
売上高



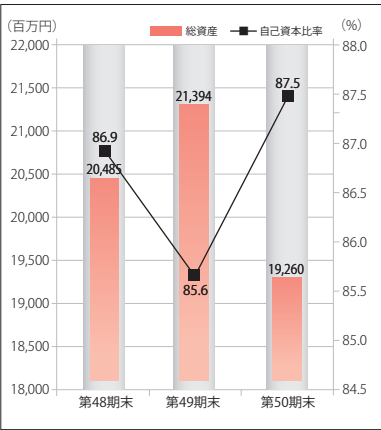
営業利益
又は営業損失



親会社株主に帰属する
当期純利益又は
当期純損失



総資産・自己資本比率



決算ポイント

【売上の状況】

第50期の商品別では、春夏向け婦人アウター類が苦戦したことに加え、前期に実施した価格改定後の買い控えの回復が想定以上に遅れたことで衣料品類の売上が大きく減少しました。また、ウルトラファインバブル事業におきましても、かねてからの競合激化による厳しい経営環境は依然として継続しており、前期と比較し、大きく減収となりました。

これらの結果、売上高は115億48百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

【営業損益の状況】

第50期は、衣料品類の原材料価格の高騰による粗利益率の悪化及び売上不振に伴う棚卸資産の評価損が増加しました。また、中期経営計画推進のためのコストや営業体制の見直しによるコストの増加も影響したことにより前期と比較し、大きく減益となり、営業損失は9億61百万円（前年同期は営業利益5億57百万円）となりました。

【親会社株主に帰属する当期純損益】

第50期は、営業体制見直しによる三宮オフィスの閉鎖に伴う事業所閉鎖損失25百万円を計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純損失は10億12百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益5億85百万円）となりました。

事業報告（報告セグメント別売上高）

セグメント 売上構成比／売上高		売上高の推移(単位:百万円)		50期トピックス									
レディースインナー等販売事業	衣料品類	67.6% 7,806 百万円 <table><tr><td>第50期(2025年3月期)</td><td>中間連結会計期間(3,917)</td><td>通期(7,806)</td></tr><tr><td>第49期(2024年3月期)</td><td>中間連結会計期間(4,543)</td><td>通期(8,683)</td></tr><tr><td>第48期(2023年3月期)</td><td>中間連結会計期間(4,044)</td><td>通期(8,669)</td></tr></table>	第50期(2025年3月期)	中間連結会計期間(3,917)	通期(7,806)	第49期(2024年3月期)	中間連結会計期間(4,543)	通期(8,683)	第48期(2023年3月期)	中間連結会計期間(4,044)	通期(8,669)	秋冬向け婦人アウター類が前年よりも好調に推移しましたが、春夏向け婦人アウター類が苦戦しました。また、定番商品では前期に実施した価格改定後の買い控えの回復が想定以上に遅れ、衣料品類全体として、前年を大きく下回りました。	
	第50期(2025年3月期)	中間連結会計期間(3,917)	通期(7,806)										
	第49期(2024年3月期)	中間連結会計期間(4,543)	通期(8,683)										
	第48期(2023年3月期)	中間連結会計期間(4,044)	通期(8,669)										
	化粧品類	17.6% 2,036 百万円 <table><tr><td>第50期(2025年3月期)</td><td>中間連結会計期間(1,078)</td><td>通期(2,036)</td></tr><tr><td>第49期(2024年3月期)</td><td>中間連結会計期間(1,150)</td><td>通期(2,116)</td></tr><tr><td>第48期(2023年3月期)</td><td>中間連結会計期間(1,024)</td><td>通期(1,906)</td></tr></table>	第50期(2025年3月期)	中間連結会計期間(1,078)	通期(2,036)	第49期(2024年3月期)	中間連結会計期間(1,150)	通期(2,116)	第48期(2023年3月期)	中間連結会計期間(1,024)	通期(1,906)	スキンケア・ヘアケア商品におきましては、愛用者をターゲットとした数量限定のお得なセット商品が好調に推移したものの、定番商品が伸びず、売上高は前年を下回りました。	
第50期(2025年3月期)	中間連結会計期間(1,078)	通期(2,036)											
第49期(2024年3月期)	中間連結会計期間(1,150)	通期(2,116)											
第48期(2023年3月期)	中間連結会計期間(1,024)	通期(1,906)											
健康食品類	8.0% 925 百万円 <table><tr><td>第50期(2025年3月期)</td><td>中間連結会計期間(408)</td><td>通期(925)</td></tr><tr><td>第49期(2024年3月期)</td><td>中間連結会計期間(482)</td><td>通期(929)</td></tr><tr><td>第48期(2023年3月期)</td><td>中間連結会計期間(454)</td><td>通期(863)</td></tr></table>	第50期(2025年3月期)	中間連結会計期間(408)	通期(925)	第49期(2024年3月期)	中間連結会計期間(482)	通期(929)	第48期(2023年3月期)	中間連結会計期間(454)	通期(863)	健康食品類におきましては、既存商品の認知度向上と販売に注力した結果、前期並みの売上高となりました。		
第50期(2025年3月期)	中間連結会計期間(408)	通期(925)											
第49期(2024年3月期)	中間連結会計期間(482)	通期(929)											
第48期(2023年3月期)	中間連結会計期間(454)	通期(863)											
その他	2.7% 308 百万円 <table><tr><td>第50期(2025年3月期)</td><td>中間連結会計期間(95)</td><td>通期(308)</td></tr><tr><td>第49期(2024年3月期)</td><td>中間連結会計期間(119)</td><td>通期(355)</td></tr><tr><td>第48期(2023年3月期)</td><td>中間連結会計期間(241)</td><td>通期(527)</td></tr></table>	第50期(2025年3月期)	中間連結会計期間(95)	通期(308)	第49期(2024年3月期)	中間連結会計期間(119)	通期(355)	第48期(2023年3月期)	中間連結会計期間(241)	通期(527)	第47期より、子会社のシャワーヘッドを当社のOEM商品として販売してまいりましたが、当社の市場において、需要が一巡したことなどにより、売上高は低調に推移し、前年を下回りました。		
第50期(2025年3月期)	中間連結会計期間(95)	通期(308)											
第49期(2024年3月期)	中間連結会計期間(119)	通期(355)											
第48期(2023年3月期)	中間連結会計期間(241)	通期(527)											
ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業	4.1% 472 百万円 <table><tr><td>第50期(2025年3月期)</td><td>中間連結会計期間(213)</td><td>通期(472)</td></tr><tr><td>第49期(2024年3月期)</td><td>中間連結会計期間(540)</td><td>通期(1,084)</td></tr><tr><td>第48期(2023年3月期)</td><td>中間連結会計期間(677)</td><td>通期(1,287)</td></tr></table>	第50期(2025年3月期)	中間連結会計期間(213)	通期(472)	第49期(2024年3月期)	中間連結会計期間(540)	通期(1,084)	第48期(2023年3月期)	中間連結会計期間(677)	通期(1,287)	ホテルを中心とした施設や新規の販売先の開拓、シャワーヘッドOEM受注の新規獲得等に注力してまいりましたが、シャワーヘッド市場に異業種からの参入も増え、他社の新商品発売数も増加したこと等により厳しい経営環境が継続し、売上高は前年を大きく下回りました。		
第50期(2025年3月期)	中間連結会計期間(213)	通期(472)											
第49期(2024年3月期)	中間連結会計期間(540)	通期(1,084)											
第48期(2023年3月期)	中間連結会計期間(677)	通期(1,287)											

シャルレブランドの「リブランディング」

～ 50 周年を前に～

2025年11月19日にシャルレは創業50年を迎えます。

当社は創業時より「人はみな豊かでなければならない」という基本理念の考え方を、不変のものとして大切にしてきました。今もそれは変わりませんが、時代の変化とともに、シャルレを取り巻く環境や価値観は大きく変化しています。

創業50周年を迎えるにあたり、シャルレというブランドを「リブランディング」し、時代の変化に合わせた変革を推し進め、これからのシャルレが目指すことやシャルレの約束をかがげるとともに、企業ロゴを刷新しました。

新企業ロゴに込めた想いと、シャルレがもっと女性に寄り添うための新たな情報発信サイト「ITSUMOTTO」をご紹介します。

シャルレが目指すこと

いつも、私らしく
輝ける場所がある。

シャルレの約束

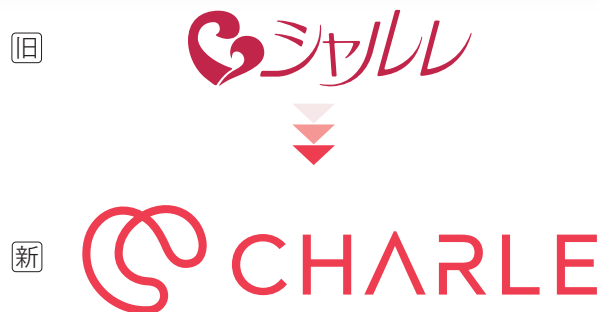
女性一人ひとりの変化に寄り添い、
生活の質を向上させる
商品・サービス・ビジネスを提供します。

企業ロゴの刷新

シャルレの価値とその想いを、今の時代に合うカタチで届ける。リブランディングの発信としてまず着手したのは、創業からずっと親しまれてきた企業ロゴをリニューアルすることでした。より現代的であり、よりニュートラルであること。そして、シャルレの価値を象徴するものであること。誕生した新たな企業ロゴは、長きにわたって愛されてきた従来の企業ロゴをエッセンスとしながら、「新しいシャルレ」のシンボルとして結実しました。

■ロゴマークに込めた想い

シャルレのシンボルであるハートマークをベースに、お客様とともに寄り添いながら歩いていく姿と無限の広がりを表した「∞」マーク、そしてシャルレの頭文字「C」で表現しました。



■ロゴカラー

旧ロゴはワインレッドだったカラーを、「ひさきいろ緋咲色」という鮮やかな赤色に刷新。情熱を表す「緋」と、一面に咲き誇る花のように輝く女性を表す「咲」を表現しました。

新企業ロゴに順次切り替え、広く浸透させていきます。



オウンドメディア「ITSUMOTTO」を開設

「いつもがもっと輝く情報」を届けるホームページを開設しました。これまでのお客様とのコミュニケーションをもう一度見直し、さらにもう一步踏み込んで、これからのシャルレが目指す「いつも、私らしく輝ける場所がある」というコンセプトをそのままに表現できるメディアのあり方を模索し、スタートしたのが「ITSUMOTTO」です。



ITSUMOTTO(いつもっと)ではどんな時でも自分らしく輝くためのヒントや、女性の人生に寄り添い、シャルレビジネスに取り組む代理店の想いや、開発してきた商品にける想いなどを記事にしてお届けします。シャルレが提供する「女性ひとり一人の変化に寄り添い、生活の質を向上させる商品・サービス・ビジネス」についての情報記事を4つのカテゴリーに分けて掲載しています。

ITSUMOTTO
～アクセスはこちらから～



女性の気になる「知りたい」情報を4つのカテゴリーに分類。シャルレが培ってきた、シャルレならではの情報を発信します。シャルレをご存知ない若年層の方々とも接点を築いていきます。

シャルレ事業における SDGs 取り組み項目の目標・進捗

当社において、持続可能な社会の実現を目指し、SDGsの取り組みを推進し、17の国際目標のうち以下の3つの項目について重点的に取り組むことを当期も継続しております。
進捗状況は以下の通りです。今後もSDGs実現に向けた取り組みを中期経営計画・事業戦略との統合を図り、推進してまいります。

3 すべての人に健康と福祉を

人生100年時代を見据えて、人々の健康維持に貢献できる商品の提案を目指します。また、シャルレビジネスを通じて人々が社会や人とつながる“場”を提供することで豊かな生活を目指します。

取り組み		目標項目	2024年実績	2029年目標
(1)健康関連商材の提供	健康関連商材(健康食品・シャルレウエルネス商品)の販促、定期便の利用促進	健康食品売上シェア	8.1%	33.6%
		定期便利用者シェア	19.7%	30.0%
(2)多様な働き方の推進 ※目標8(働きがい)の観点も含む	残業時間の削減や有給休暇の取得促進による私生活の充実	残業時間数	月平均6.4時間 (管理職除く)	月平均3時間 (管理職除く)
		有給休暇取得率 (付与日数に対する取得日数比率)	70.4%	70.0%
	自己の健康状況把握及び改善の推進	健康診断 (生活習慣病健診含む) における有所見率	34.6%	20.0%
		事業場での就労にとらわれない柔軟な就労体制の確立	テレワークの取得率	13.2%

5 ジェンダー平等を実現しよう

いつも私らしく輝ける場所を提供する企業として、学歴や資格に関係なく誰でも始められるシャルレビジネスを提供し、女性経営者を育成し、女性が活躍する社会を目指します。

取り組み		目標項目	2024年実績	2029年目標
(1)女性の労働環境の提供	魅力あるシャルレビジネスの提供	特約店稼働数(月平均)	3.04万人	5.0万人
(2)女性経営者の育成・教育	代理店の育成・教育	代理店育成数(累計)	4,133店	4,300店
(3)女性従業員の活躍推進	女性従業員の多様なキャリア形成の支援による、長く勤務できる環境の整備	女性管理職比率	24.3%	25.0%
		女性従業員の平均勤続年数	16.5年	20年
		育児休業取得率	100%	100%

12 つくる責任、つかう責任

品質のよい商品にこだわり、パッケージを簡素化する等、環境負荷が少なく、安心・安全に配慮したもののづくりを目指します。

取り組み		目標項目	2024年実績	2029年目標
(1)環境等に配慮した調達・商品開発	適正なメーカーとの取引強化	新疆綿の利用率低減	非開示	使用率0%
(2)パッケージの簡素化	配送用段ボールの変更	新規段ボール(小サイズ)の導入	非開示	一部導入
(3)ロス資材の有効活用	ロス資材の再利用	自社資材を活用した混抄紙(ASUKAMI)の活用	自社資材を活用した混抄紙(ASUKAMI)の活用	認知・好意
(4)シャルレブランド価値の向上	企業及び商品のリブランディングによる、新たな価値・サービスの提供	ブランド認知・好意・推奨	2024年スタート	認知・好意

※取り組み内容や目標に関しては事業の方向性や経営計画を鑑み、随時見直し・検討を行ってまいります。

シャルレグループにおける取り組み

シャルレグループは持続可能な社会の実現を目指し、SDGsの取り組みを推進しております。引き続き17の国際目標のうち以下項目について重点的に取り組んでまいります。



人生100年時代を見据えて、人々の健康維持や快適な暮らしに貢献できる商品や製品の提案を目指します。
また、人々が社会や人とつながる“場”を提供することで豊かな生活を目指します。



女性が活躍できる社会を目指すとともに、人々が働きがいのある仕事に取り組めるよう雇用の増加を目指します。



品質のよい商品にこだわり、環境負荷が少なく、安心・安全に配慮したもののづくりを目指します。

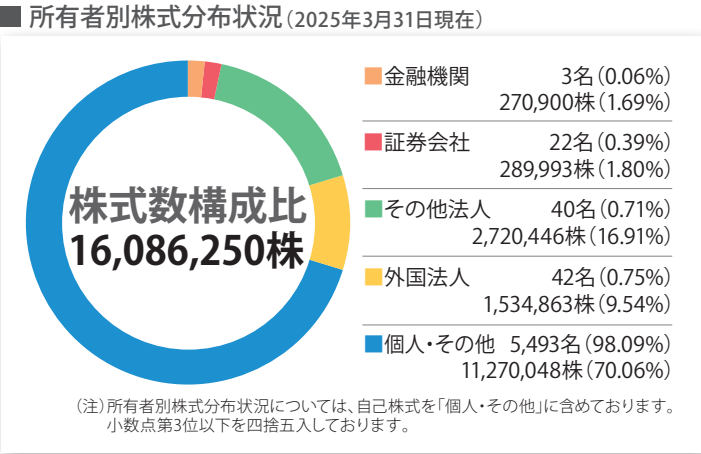
会社の概要・株式の状況

会社の概要

■ 概要 (2025年3月31日現在)	■ 役員 (2025年6月18日現在)
社 名 株式会社シャルレ	代表取締役 …………… 林 勝 哉
本社所在地 神戸市中央区港島中町 7 丁目 7 番 1 号	取締役 …………… 高 畑 則 雄
設 立 1975年11月19日	取締役 …………… 千 本 松 重 雄
資 本 金 1億円	取締役 …………… 濱 野 正 治
事 業 内 容 レディースインナーを主体とする 衣料品、化粧品、健康食品等の販売	取締役 …………… 石 岡 弘 幸
社 員 数 205 名	社外取締役 (常勤監査等委員) …………… 吉 田 稔
	社外取締役 (監査等委員) …………… 茂 永 崇
	社外取締役 (監査等委員) …………… 中 西 律 子

株式の状況

■ 株式の状況 (2025年3月31日現在)	■ 大株主 (2025年3月31日現在)
発行可能株式総数 84,000,000 株	
発行済株式の総数 16,086,250 株	
株 主 数 5,600 名	



株主名	当社の持株状況	
	持株数 (株)	持株比率 (%)
林 雅晴	1,508,925	9.67
(有) G & L	1,272,432	8.15
(有) Lam's	956,150	6.12
INTERACTIVE BROKERS LLC	906,000	5.80
林 勝哉	843,500	5.40
瀬崎五葉	834,700	5.35
林 宏子	737,699	4.73
林 充孝	668,500	4.28
林 直樹	458,305	2.94
林 達哉	291,000	1.86

(注) 持株比率は、自己株式 (474,199株) を控除して計算しております。

株主メモ・株式に関するお手続きについて

株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
基 準 日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)
同 連 絡 先	
公 示 の 方 法	電子公告 公告掲載 URL https://www.charle.co.jp/ company/outline/publicnotice.html (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子 公告による公告をすることができない場合は日本経 済新聞に掲載。)
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コ ー ド	9885

- [ご注意]
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

『コーポレートガバナンス』の内容に関しましては、
以下よりご覧いただけます。
【URL】
<https://www.charle.co.jp/corporate/governance/>
【シャルレホームページ】
「シャルレホームページ」⇒「企業情報」⇒「コーポレートガバナンス」を選択

株式に関するお手続きについて

お手続き・ご照会等の内容	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ
お問合せ先	
特別口座管理機関	株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)	
手続書類のご請求方法 インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/	

(※) 特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

お手続き・ご照会等の内容	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	○左記以外の お手続き、ご照会等
お問合せ先	
株主名簿管理人	
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)	口座を開設されている 証券会社等にお 問合せください。